

# みどりの風

令和2年11月9日（月） 発行人：校長 角田 亮明

緑  
の  
誓  
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強します
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

## 幼保小交流会を実施しました＝1年生と年長さん

11月6日（金）の午前中、毎年恒例の「幼保小交流会」を開催しました。緑丘小校区内にある5つの保育園、幼稚園（第二双葉・聖マリア・みどり丘・恵・幼徳）から、次年度に小学校入学予定の年長さんを招待し、1年生のリードで交流するという内容です。今年も、5園合計68名の年長さんと一緒に楽しく交流することができました。交流のスタートはダンス。運動会で披露した1年生得意の「チェッコリダンス」を踊った後、年長さんに踊り方を教えてレッツ・ダンス！！体育館じゅうに、かわいい「腰振り」の花が咲きました。続いて、音楽学習の成果披露。鍵盤ハーモニカで「どれみであいさつ」と「なかよし」の2曲を演奏しました。年長さんからの憧れの視線を感じ、全員が堂々と胸を張っての演奏でした。メイン活動は秋の遊び。生活科の時間に準備したゲーム屋さんを开店して、年長さんに楽しく遊んでもらいました。準備したゲーム屋は、1組：魚つり・迷路・くじ、2組：カード合わせ・的当て・どんぐりキャッチ、3組：もぐらたたき（写真）とボーリング。優しく丁寧に遊び方を説明し、時にはやってみせながら楽しみ方を教え、1歳下の年長さんのお世話をする姿に、この1年の成長を感じることができました。年長さんもしっかり話を聞き、ルールを守って協力して遊ぶことができていたようです。帰路途中、年長さん達が「あー、楽しかったなあ」とつぶやく様子を見て、本当に良かったなあと思います。1年生のみなさん、ご苦労様でした。



ちなみに、就学時検診受診時点で、次年度入学予定児童数は「70名」となっています。

## 総合学習「福江みなと祭りのことを知ろう」＝3年生

毎年、ふくえ祭りに参加している3年生。今年はコロナの影響でみなと祭り自体が中止となり、総踊りに参加することができませんでした。そこで、毎年踊りを教えてくださっている古里先生母子をお招きし、踊りを教えることになったきっかけや踊り方についてお話をうかがう学びを計画しました。古里先生は、看護師の仕事、にぼしの出汁をとる仕事、長崎大水害の被害に遭われた方の慰問など、いろいろな仕事をされた後、富江の町を盛り上げるために踊りを教え広げてほしいという依頼に応えてかかわるようになったのだそうです。踊りを教え始めて50年。民謡が大好きで、長崎まで習いに行きながら、曲に合わせて跳ねたりする元気な踊りを教え続けてきたそうです。今回は子ども達に「みかん音頭」という踊りを教えてくださいました。子ども達も、古里先生の踊る様子を見ながら、見よう見まねで必死に踊っていました。子ども達に出会って、教えることが嬉しいと笑顔で語る古里先生。素敵な出会いとなりました。

